



完成の定義

Definition of Done

ギルドワークス
中村 洋(@yohhatu)

ざっくり今日の流れ

- ✓ 「完成の定義」とは？
- ✓ 「完成の定義」の例
- ✓ これがないと何が困るの？
- ✓ 「完成の定義」を作ろう

ざっくり今日の流れ

- ✓ 「完成の定義」とは？
- ✓ 「完成の定義」の例
- ✓ これがないと何が困るの？
- ✓ 「完成の定義」を作ろう

「完成の定義」とは？

完成の定義とは、プロダクトの品質基準を満たすインクリメントの状態を示した正式な記述である。

プロダクトバックログアイテムが完成の定義を満たしたときにインクリメントが誕生する。

「完成の定義」とは？

完成の定義により、作業が完了してインクリメントの一部となったことが全員の共通認識となり、透明性が生み出される。

プロダクトバックログアイテムが完成の定義を満たしていない場合、リリースすることはできない。ましてやスプリントレビューで提示することもできない。

そうした場合、あとで検討できるようにプロダクトバックログに戻しておく。

「完成の定義」とは？

完成の定義とは、概念的には仕事のチェックリストのようなものだ。出荷判断可能であると宣言する前に、チームが無事に終わらせておくべき仕事のチェックリストである。

「完成の定義」とは？

この定義は、開発チームがスプリントプランニングでプロダクトバックログアイテムをいくつ選択するかを指針にもなる。各スプリントの目的は、そのときの「完成」の定義に合ったリリース判断可能な機能のインクリメントを届けることである。

「完成の定義」とは？

開発チームは、スプリントごとにプロダクトインクリメントを届ける。インクリメントは実際に利用可能なものであり、プロダクトオーナーがすぐにリリースすることもできる。インクリメントの「完成」の定義に関して、開発組織の慣例・標準・ガイドラインが存在する場合は、スクラムチームは最低でもそれを守らなければならない。

「完成の定義」とは？

インクリメントの「完成」の定義が開発組織に存在しない場合は、スクラムチームの開発チームはプロダクトに適した「完成」を定義しなければいけない。複数のスクラムチームがシステムやプロダクトのリリース作業をする場合は、すべてのスクラムチームの開発チームが共通の「完成」の定義を使用しなければいけない。

「完成の定義」とは？

インクリメントは、それまでのインクリメントに追加されたものであり、すべてが正常に動くように十分にテストされたものである。

スクラムチームが成熟していくと、「完成」の定義にさらに厳しい品質条件を追加することもある。新しい定義を作り、それを使用していくと、以前に「完成」したインクリメントにも手を加えなければいけないことが明らかになる可能性がある。あらゆるプロダクトやシステムは「完成」の定義を備えるべきである。それがあらゆる作業の完了基準となる。

要するに「完成の定義」とは？

「これが終わった」時になっていないといけないう状態、やっておかないといけないうこと。

ざっくり今日の流れ

- ✓ 「完成の定義」とは？
- ✓ 「完成の定義」の例
- ✓ これがないと何が困るの？
- ✓ 「完成の定義」を作ろう

「完成の定義」の例

例1：「会議」の完成の定義

1. 議事録がある。
2. 会議室が元通りになっている。

「完成の定義」の例

例2：「掃除」の完成の定義

1. XXX

2. YYY

3. ZZZ

「完成の定義」の例

例3：「プログラム」の完成の定義

1. 静的テストの指摘がない。
2. コードレビューがされている。
3. masterブランチにコミットされている。
4. 自分の動作環境での動作確認が終わっている。

ざっくり今日の流れ

- ✓ 「完成の定義」とは？
- ✓ 「完成の定義」の例
- ✓ これがないと何が困るの？
- ✓ 「完成の定義」を作ろう

これがないと何が困るの？

- ✓ 透明性が低くなる

「だいたい終わりました」 「何が残っているんやる？

これがないと何が困るの？

✓ 手戻りが増える

A：「XX終わりました」

B：「(XXをさわってみる)あ??全然終わってねえやん))

これがないと何が困るの？

✓ 品質が低くなる

「え？XXテストやってなかったの??」

これがないと何が困るの？

- ✓ 透明性が低くなる
- ✓ 手戻りが増える
- ✓ 品質が低くなる

ざっくり今日の流れ

- ✓ 「完成の定義」とは？
- ✓ 「完成の定義」の例
- ✓ これがないと何が困るの？
- ✓ 「完成の定義」を作ろう

「完成の定義」を作ろう

- ✓ ゴール：「完成の定義」が作られている
- ✓ 補足1：完成の定義はOutput、作業、工程ごとに存在する
- ✓ 補足2：「できたらいいな」「たまにできる」は「UnDoneの定義」に入れる。UnDoneの定義の数が習熟度を示す1つの指標